

## 市内小・中・特別支援学校の児童生徒がお年玉を寄付

豊田市立小・中・特別支援学校青少年赤十字(全校加盟)により「お正月のお小遣いから、困っている友達を救おう」をテーマに、「ネパール、バヌアツへの教育支援」及び「日本各地の震災、豪雨災害等への復興支援」の2つの目的で募金活動が実施されました。

○募金総額 **1,270,171円**

この募金は、日本赤十字社豊田市地区より愛知県支部を通じ、それぞれの目的宛に送金されます。



令和4年2月16日 目録の贈呈  
(豊田市青少年赤十字指導者協議会 伊申和芳会長(左)より)

## ご寄付ありがとうございました

【令和3年12月1日～令和4年1月31日の寄付者一覧】 順不同、敬称略。

※掲載者以外にも匿名で多くのご寄付をいただきました。掲載名は、寄付者の意向に準拠しています。

### 〈市社会福祉協議会への寄付〉

第16回豊田市小原地区チャリティゴルフ大会、六三四会女子部会、磯谷公明、白石社会保険労務士事務所、大澤敏之、築瀬国男、安藤君衛、梅田康司、金谷町金寿会、梅村君子、第32回公益財団法人豊田市文化振興財団歳末チャリティー作品展実行委員会、障がい者福祉会館募金箱、藤岡地区高齢者クラブ連合会、豊田市高年大学10期生匿名、藤岡南地区高齢者クラブ連合会、加藤博子、水野豊、岡本修司、緒方士郎、大内寿夫、豊田市教育自主研究グループ(音楽)、福祉センター2階募金箱、上郷地区新成人を祝う会実行委員会、さわやか教室、AGC労働組合愛知支部、日本発条労働組合豊田支部、第一生命労働組合豊田支部



令和3年12月21日 目録の贈呈  
(第32回公益財団法人豊田市文化振興財団歳末チャリティー作品展実行委員会 佐藤寛山委員長(左)より)

### 〈子ども・生活困窮者への指定寄付〉

えぶろんフーズ株式会社、NPO法人とよたエコ人プロジェクト、フリーマーケット紙ふうせん、丸和電子化学株式会社、黄レンジャーサークル、榊原工業株式会社、1月15日(土)豊田市駅でバッグを警察に届けてくださった方に感謝、ほっこりマルシェ出店者一同

### 〈物品の寄付〉

コロモタクシー、梅村正、小原安立、株式会社出雲殿、豊田信用金庫、ひまわりネットワーク株式会社、アイシン高丘エンジニアリング株式会社、TBロジスティクス株式会社

## 義援金へのご協力ありがとうございました

【令和3年12月1日～令和4年1月31日】 順不同、敬称略。

※掲載者以外にも匿名で多くのご寄付をいただきました。掲載名および送金先は、寄付者の意向に準拠しています。

### 〈期間中に受け付けた義援金名称：令和2年7月豪雨災害、令和3年7月大雨災害、令和3年8月大雨災害、令和3年長野県茅野市土石流災害、令和3年台風第9号等大雨災害〉

ソーネおおぞね、藤宮自治会、渡刈町自治会、障がい者福祉会館義援金箱、足助支所義援金箱、よつば会、旭支所義援金箱、藤岡支所義援金箱、道の駅どんぐりの里稲武募金箱、豊田市福祉センター義援金箱、稲武福祉センター義援金箱、逢妻の町が大好きな仲間たち

### 〈豊田市社会福祉協議会連絡先一覧〉

	TEL	FAX		TEL	FAX		TEL	FAX
● 総務課(豊田市福祉センター)	34-1131	32-6011	● 上郷出張所	41-5088	41-5099	● 旭支所	68-3890	68-2801
● 共生推進課	31-1294	33-2346	● 猿投出張所	41-3082	41-3083	● 足助支所	62-1857	61-1115
● 暮らし応援課	31-9671	33-2346	● 高岡出張所	85-7720	85-7733	● 稲武支所	82-2068	82-3604
● 基幹包括支援センター	63-5279	63-5281	● 高橋・松平出張所	85-1120	85-1122	● 小原支所	65-3350	65-3705
● 障がい者総合福祉会館	34-2940	35-2833	● 豊寿園	27-2200	28-7343	● 下山支所	90-4005	90-2419
						● 藤岡支所	76-3606	76-3608

# とよた 社協だより

WELFARE INFORMATION

第173号  
令和4年5月発行

社会福祉法人  
豊田市社会福祉協議会

〒471-0877  
愛知県豊田市錦町1-1-1  
TEL (0565) 34-1131  
http://toyota-shakyo.jp/



## 社協会費にご協力をお願いします

### ○「社会福祉協議会(社協)」とは?

地域で起こるさまざまな福祉問題を地域全体の問題としてとらえ、みなさんと一緒に考え、話し合い、保健・医療・司法・福祉等の関係者、行政機関と連携して解決を図ることを目的とした、民間の福祉団体です。  
また、社会福祉法に定められた団体で、公益性の高い活動を行っています。

### ○社協を支えている財源

民間財源：皆さまから寄せられた会費・寄付金・共同募金配分金、在宅介護サービス収入  
公的財源：豊田市、県社協等からの委託料・補助金

### ○皆さまから寄せられた会費の主な使い道

- \*自治区や地区コミュニティ会議など地域福祉活動への助成
- \*「とよた市民福祉大学」の開講・運営
- \*地域ふれあいサロンの支援
- \*法律相談など各種相談事業
- \*住民のボランティア活動を推進するボランティアセンター事業
- \*小・中・高等学校等の福祉教育の応援
- \*車椅子・福祉車両の貸出 など

### ○会員区分や金額について

社協の活動にご賛同いただける場合には、ぜひ会員としてご協力をお願いいたします。

- \* 普通会員：300円以上1,000円未満
- \* 賛助会員：1,000円以上

(300円未満は協力費として受領させていただきます。)

●ご協力は強制ではありませんが、本会の地域福祉活動にご理解を賜り、ご協力をお願いします。

●ご協力いただいた会費は、所得税法第78条の寄附金控除の対象となり、「個人領収書」により、税制上の優遇措置が受けられます(詳細は税務署等にご確認ください)。

●個人領収書をご希望の方は、事前に下記問い合わせ先までご連絡ください。

●普通会員・賛助会員世帯が火災等により被災された場合には、災害見舞金に会員加算を加えて支給させていただきます。

【お問い合わせ：総務課 ☎34-1131】



車いす体験を行っている児童の様子  
(令和3年6月 野見小学校)

思いやり いつでも どこでも 誰にでも





# 令和4年度 豊田市社会福祉協議会 事業計画及び収支予算の概要

豊田市社会福祉協議会は、「安心して自分らしく生きられる支え合いのまちづくり」を、豊田市民をはじめ自治区、民生委員・児童委員、地区コミュニティ会議、学校、ボランティア、福祉団体、企業及び豊田市行政等の関係の皆様と共に進めています。



## ● 地域づくりの推進

誰もが自分らしく生きられる社会を目指し、困りごとのある方々を地域の中で支えていく仕組みづくりを、市民の皆さんをはじめ関係機関と共に行います。また、地域福祉の担い手となる人材の育成に努めます。

### 具体的な取組

- 地域福祉人材の育成  
とよた市民福祉大学（第7期）の開講  
障がい理解するための実践教室の開催
- ボランティアセンターによる地域福祉への住民参加の支援  
ボランティア講座、ボランティア講演会の開催  
住民主体の地域福祉活動の事例発表の開催
- 住民等が主体となって取り組む支え合い活動（お助け隊など）の立ち上げ支援 など



令和3年度住民のための地域福祉活動実践セミナーの様子

## ● 相談支援の充実

高齢者・障がい者・子どもを含む市民のあらゆる生活上の相談に応じます。課題解決に向けて関係機関と綿密に連携・情報共有をしながら、相談者が自立した生活を送れるよう支援します。

### 具体的な取組

- 心配ごと相談、生活困窮 世帯等への相談支援  
相談者の生活に寄り添った相談支援  
身近なところで相談できる体制の整備
- 高齢者、障がい者、子どもの相談支援  
地域包括支援センターやケアマネジャーによる高齢者の相談支援  
障がい者の福祉サービス等の相談支援  
豊田市社会福祉協議会高校生等就学応援金の支給
- 権利擁護支援  
成年後見制度の啓発、相談支援  
とよた市民後見人の活動支援 など



相談窓口

## ● 在宅福祉の充実

市内全域に、介護サービスが行き渡るように在宅介護事業の運営を行います。また、より良い介護サービスを市民の皆さんに提供できるよう、関係機関の連携強化や質の向上を図ります。

### 具体的な取組

- 市内介護事業所等の支援  
介護職員初任者研修等の実施による介護人材の確保  
介護サービス機関連絡協議会事務局として事業者間の連携の強化
- 中山間地域における介護保険サービス、障がい福祉サービス事業の実施
- 介護サービス事業所の安定経営  
安全・安心で質の高いサービス提供に向けた職員の資質向上  
災害時、感染症拡大時などのサービス提供体制の整備 など



令和3年度介護職員初任者研修の様子

## ● 指定管理施設の充実

豊田市から指定管理を受けている9施設を、地域福祉の活動拠点として活用します。また、市民の皆さんに安全・安心に利用していただけるよう、サービスの向上に努めます。

### 具体的な取組

- 安心・安全を最優先した施設の適切な管理  
感染症予防対策の実施  
適切な点検や修繕の実施
- 地域福祉推進の活動拠点としての活用  
ボランティア活動者の活動拠点 など



## ● 法人基盤の強化

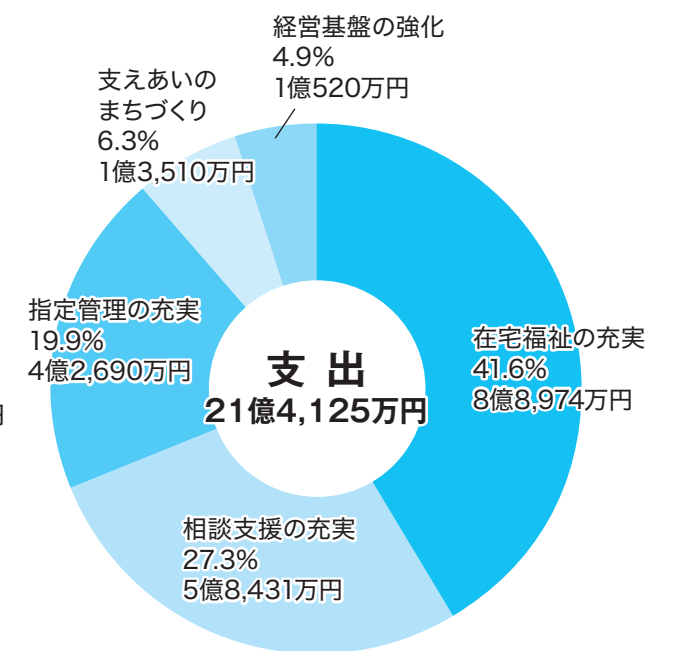
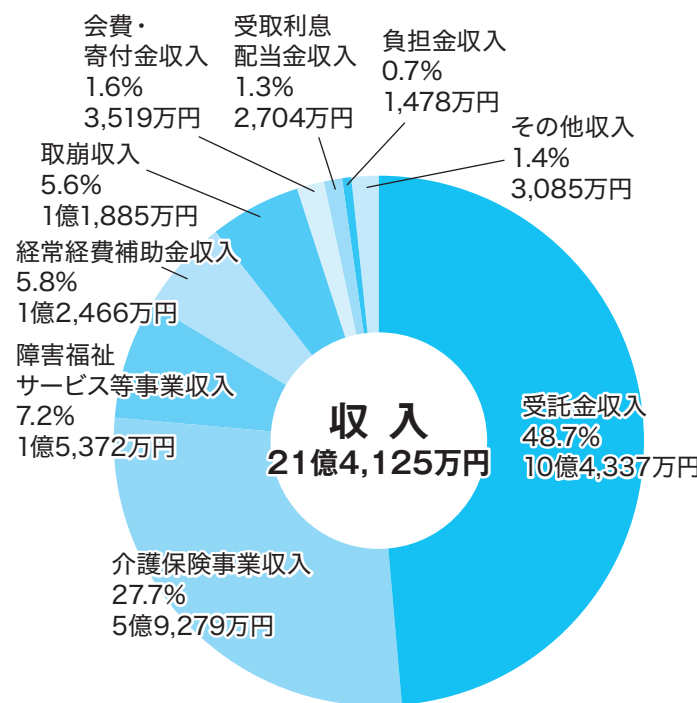
本会の事業や理念を、より多くの市民の皆さんにご理解をいただくことで、社協会費、共同募金、寄付金などの自主財源の確保に努めます。また、人材の確保・育成により安定的な事業継続ができるよう人的基盤を強化します。

### 具体的な取組

- 「第2次豊田市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の実践
- 社協会費、共同募金、寄付金等の用途の明確化
- 機関紙やホームページ等による広報活動の充実
- 災害時、感染症拡大時に事業が継続できる体制づくり
- 地域福祉活動基金、豊田市社会福祉協議会子ども基金の増強 など

## 収支予算 総額21億4,125万円

※内部の資金移動分を除く  
※前期繰越金を除く



[単位未満は適宜端数調整を行っています]